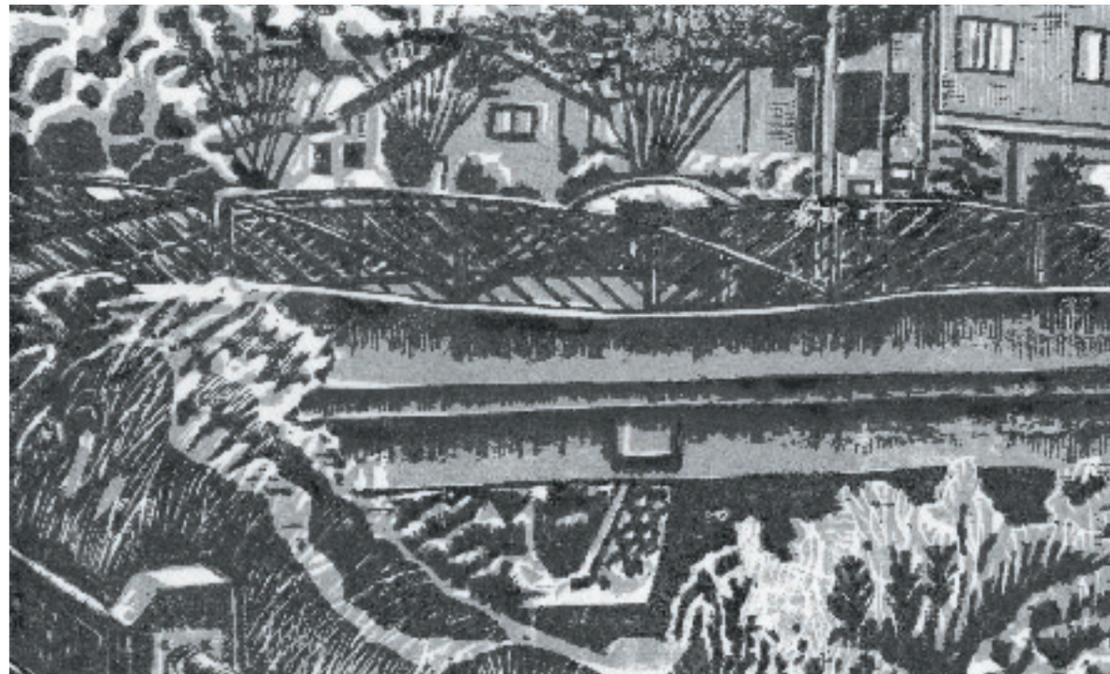


いたちかわらばん

通刊50号 鮪川・独川 / 川原番・瓦版 '10夏号

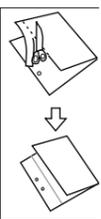


【版画 宗森 英夫】

下流から見た辺瀨橋

切り取り線

この部分を切り取ってファイルにすると便利です



♪八千八川集めきて〜日本海に注ぐなる 流れも清き信濃川
 果てしも見えず、未長し♪♪：これは我が母校の校歌の一節である。

故郷は信濃川上流に位置しており、川は町の西端を流れている。日本一の大河である信濃川も河口の新潟市から一〇〇km上流になると、川原の幅は二五〇mほどで、直ぐ上流で小千谷発電所への水を分流採取してしまうため水流は太くない。家から川までの距離は三km、子供の足で歩いて五〇分ほどか。ここで釣竿も釣針も使わぬ原始的な漁法で魚を捕って遊んだ。本流から離れた端の方の細い流れに石を並べて積む。川原は大小様々の石ころだらけだから手当たり次第に掴んで積める。下流になるに従って狭くしてゆき、じょうご状になるようにどんどん石を積んでいって先端を閉じてしまう。これが出来上がると皆で上流から魚を追いつき、石の下に手を突っ込んで手探りで魚を探す。魚がいると指先にぶると感じるの逃がさないようにヤツの体に触り続ける。魚体に手が触れている限りヤツは全く動かさずじっとしているが握ろうとすると逃がすことが多い。筒状になった掌は魚体を包む形になってスルリと逃げやすくなるからだ。こんな魚とのやりとりが限りなくスリリングで楽しい。両手で持ち上げられる大ききの石なら石ごと持ち上げて川原に置いてから魚を取り上げる方法をとった。

こうして夕方になるまで一日中遊んで一体何尾捕まえたろうか？オニギリでも作って貰って持っていったのかも知れないが食事はどうしていたか全く記憶に無い。

戦後間もない頃、小遣いなど一円もなく時間だけが余るほどあった少年時代の楽しい川遊びの思い出である。

(ピンテール)

いたち川で見られる帰化植物



ホテイアオイ

これまでも、度々、帰化植物を紹介してきましたが、改めてシリーズとして取り上げ紹介していきます。

今回紹介するホテイアオイは熱帯アメリカ原産の多年生草本ですが、現在では南北アメリカ、南ヨーロッパ、アフリカ、アジア、オセアニアなど熱帯、亜熱帯、温帯に広く分布しています。

日本には明治中期に観賞用として渡来し、今では南関東、北陸以西に見られ、観賞用として栽培もされていますが、暖地では水路の害草として嫌われています。異常繁殖が問題となったのは1960年以降で、水域の富栄養化と関連するようです。

流れの少ないよどんだところを好み、いたち川では上流から中流で見られます。浮遊水草（根が川底の土についていない）で、根元からつる枝を出し次々と子株を作り短期間に大群落をつくります。越冬株と種子によって繁殖します。春に発生し、花期は夏から秋にかけてです。

植物としての特徴は、葉柄の基部が丸くふくらみ浮き袋の役をしていることです。茎は水中にあり葉を双生します。葉は無毛で光沢があります。束生する葉の間から1茎を出し、短い総状花序で直径3cmほどの淡紫色の花をつけます。

いたち川 ニュース

尾月の北斜面が広大な花園に変身

尾月橋の東、いたち川左岸斜面はキンケイ菊の畑で「いたち川散策マップ」でも紹介され、ご存知の方も多いためです。この斜面の花園を一人で黙々と維持してこられた石飛さんが亡くなり、その後わずか数ヶ月で斜面は荒れ果ててしまいました。見かねて尾月の住民が立ち上がり、自治会で新たに花園を造り維持することになりました。

長さ120~150m、幅25~30mの広さに、平均4m幅3段の花園が計画され、6月27日最上段の園に尾月自治会住民による植樹祭が行われました。子ども会、シルバー（春秋会）を始め各種のサークルが参加して、時折小雨がまじるなか総勢60余名が参加、子どもの賑やかな声が飛び交うなかでツツジ苗約1000本が植えられました。

来年は2段目の園に花文字入れると良いね！などの意見もあり、石原橋から梅林〜アジサイロード〜川縁斜面の花園〜上郷市民の森と続く一帯は栄区の名所になりそうです。



「いたち川犬さうじ」

天神橋から警察学校前までの河川敷やプロムナードをみんなで掃除しましょう。

申込：7月22日(木)までに電話かFAXで参加人数を。

日時：7月29日(木)10時~12時(雨天中止)

場所：大いたち橋・小いたち橋広場(区役所裏)

○汚れてもよい服装、帽子、ゴム長靴等で。

栄区役所地域振興課資源化推進担当

TEL 894-8488 FAX 895-6990

発行年月
2010年6月

通刊50号

発行：独川OTASUKE隊 (いたちがわおたすけたい)

OTASUKE隊事務局：栄区役所区政推進課企画調整係
〒247-0005 横浜市栄区桂町303-19
TEL 045-894-8161 FAX 045-895-2260
栄土木事務所下水道・公園係
〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷1-6-1
TEL 045-895-1411 FAX 045-895-1421
(お便り・お問い合わせはこちらまで)

いたち川の幻の水源を探る — その2 —

いたち川は源流域より北に向かって流れ、紅葉橋辺りで流れは西に向きを変え天神橋・警察学校前・笠間十字路を経て柏尾川に合流します。流域の多くが昭和50年代に宅地造成されたため、水源となる支流の谷戸の多くが宅地として埋められ、地中に埋設した導水管または排水溝で本流に運ばれています。そのことは本誌49号で述べましたので、2回目の本号では上流域の幻の谷戸を古い地形図から再現してみたいと思います。

いたち川の源流域の右岸の源流は、長倉町小川アメニティを有する横浜自然観察の森です。左岸の源流は横浜霊園域に当たりますが、現在は霊園によって埋没していますので確認は不可能です。現在流水が確認できる所は翠風荘の東側の谷で見られる湧水です。

左岸の神戸橋近くで本川に入る流水、第百ゴルフ練習場からの流水、右岸の大船台遊水池は他と比較しても水量が特に多い場所なので、この三つ遊水池を中心に記述いたします。

神戸橋近くでいたち川に流入している流れは、南に隣接する遊水池を通過していたち川に流入しています。この水源の多くは鎌倉カントリークラブゴルフ場、県警本部射撃場辺りから堀によって遊水池に集められています。

旧地形図を見ますと、現在の栄プール・翠風荘に至るバス通りに当たる所に幅は狭いがかなり深い谷があり、両側斜面からの雨水が集められたようです。谷戸の谷の長さはおおよそ500m、その先端は鎌倉との市界近くまで達する長い谷です。現在の地図と対比しますと、谷戸の東斜面に当たる山地が現在のネオポリスや野七里に当たり、谷戸の西斜面山地が現在のスカイコート団地に当たります。

次にここより500m下流の紅葉橋下に流入する水源についても同様な方法で観察しますと、ここでも地下深くからの湧水は導水管で遊水池（ゴルフ練習場）に集められ、コンクリート壁に囲まれた水路で運ばれ紅葉橋下で本川に合流しています。旧地形図を見ますと、ここでは谷戸の谷は100m上流で二つに分かれ長い方の谷は南に向けて、短い谷は北西に向けて上郷市民の森の南方向に伸び、現在の東公園近くで南西へ向きを変えています。南西へ延びている箇所は現在の之上町と犬山町を境界するバス通りとほぼ一致します。もう一方の南へ延びる長い谷戸について、地元のおばあちゃんは、昔は水田があり良い所でしたと懐かしんでいました。地形図を見ますと確かに水田になっています。きっと今頃はホタルが飛び交っていたらと想像しました。この谷戸は現在では之上町の東端の道路とほぼ一致するようです。

上郷市民の森の麓に住んでおられる農家の庭先にはコンクリートで造った四角の大きな水槽で錦鯉を沢山飼っています。かなりの量の水が絶えることなく流れ込んでいて、水槽を通過して裏のいたち川に流しています。この家の主人の話によると、市民の森から引かれた水で、子どもの頃から使っているが水が絶えたことはないとの

こと。緑ヶ丘住宅の森の麓の農家の庭先にも湧水を利用している風景を見ました。このような水源はまだまだあるようです。

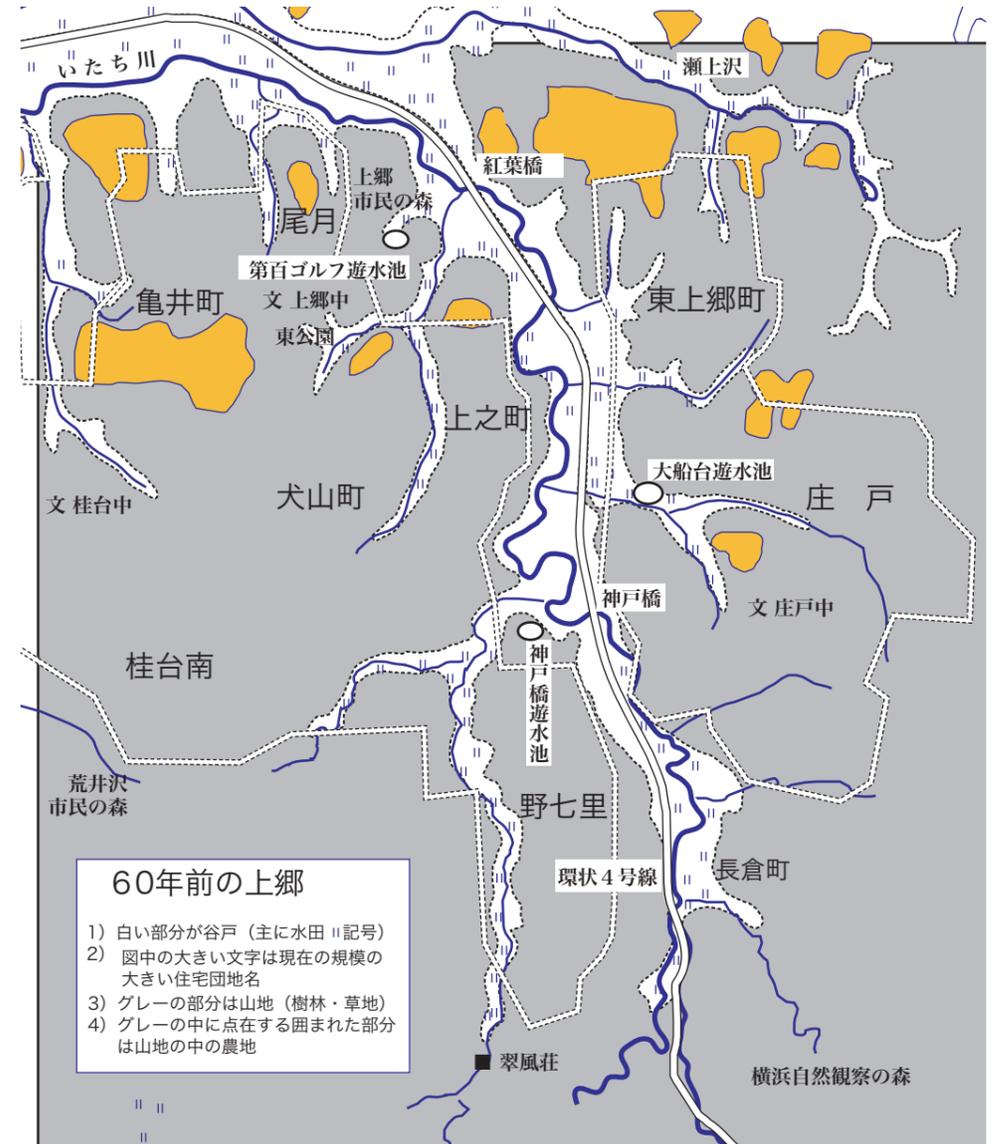
三つ目の水源地である大船台遊水池の場合はどうでしょうか。10年ほど前に水源調査で訪ねた時の印象では、池のかなり上まで水面があったように記憶していましたが、久しぶりに訪ねた印象では水面がいくぶん下がったように見えました。それでも他の遊水池と比べると水量の多さは群を抜いています。いつも豊かな水を湛えているこの遊水池の水源地はどこにあるのでしょうか。背景には庄戸、東上郷、緑ヶ丘の3住宅地があります。旧地形図で見ると、谷戸となる谷は短く面積も広くないように思えますが、円海山山地に降った雨水が地中深くで東斜面を伝わり1か所に集まったのでしょうか。前記の2か所の場合と異なっていて、旧地形図では判断出来ませんでした。この場所を担当した土木の方にお聞きしたい課題だと思いました。



写真は、神戸橋の西に隣接する遊水池からトンネルで外へ、いたち川本川に続く水路。



第百ゴルフ練習場は本来の機能は遊水池です。南斜面に周辺からの湧水が導水管で運ばれ、遊水池の東端の水路を通過して外の水路で紅葉橋下で本川に合流します。左はゴルフ場から外に排出される水。右は紅葉橋に続く水路。



上図は昭和25年（1950）頃に作られた5000分の1地形図を基に作りました。現在のJR本郷台周辺が（旧海軍燃料廠）と記されています。今から60年前の地図です。いたち川の支流となる谷戸の川を探すには適切でした。（見やすくするため多色のWeb版PDFファイルを添付します。ご参照下さい。）



大船台遊水池。他の多くの遊水池が通常は空堀ですが、この遊水池はいつでも水を湛えています。